

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月16日

事業所名:放課後等デイサービス URAURA八野 7名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	57%	43%	活動グループ分け・スヌーズレン・テイルームの活用	夏休み等で生活介護(通所)と活動時間が重なる場合は、活動内容(例えば音楽のイベント等)によっては、通所の活動にも参加します。
	2	職員の配置数は適切である	86%	14%	男性職員2名配置	男性職員2名配置しており、同性介助の面でも昨年度より改善しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%			令和1年10月女性トイレ及びオムツ交換室を増設し、トイレ数の不足解消。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	29%	71%	定期的にミーティング実施	職員間で目標を共有し、ミーティングで決めたことが実行及び継続されているか、効果が見られるかの確認を行ないます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	71%	29%	保護者アンケート実施	アンケートの内容を踏まえ、月1回のミーティングにて話し合い改善します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		100%		法人として外部評価の導入を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		現在も内外の研修に参加	来年度も内外の研修に参加し研修内容の共有化を図ります。 研修教材を用いた教育を継続します。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	86%	14%	アセスメントシートの改善実施	令和2年1月より、アセスメントを今までよりも具体的にとれるようアセスメントシートを改善しました。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	14%	アセスメントシートの改善実施	新しく用意したアセスメントシートを用いていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		チームで立案しています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		季節行事の取り入れ	活動プログラムの振り返りをもとに工夫していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	86%	14%		職員同士で話し合い工夫していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	86%	14%		児童の状況に応じた個別課題の充実を図ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		支援提供時間を上手く使えるように考え、進めています。	打ち合わせを継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	86%	14%		振り返るポイントを決めて、支援の改善につながる振り返りが毎日できるように仕組み作りをします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	86%	14%	日々の記録の記入	個別の記録を取り、ケース会議で検討します。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		3ヶ月ごとのケース会議実施		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	71%	29%		改善の必要がある為、定期的にガイドラインを確認し、活動の改善について話し合いをします。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86%	14%		児童発達支援管理責任者が継続的に参加しています。また、必要に応じて児童指導員等も同行します。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%		毎回保護者様に連絡ノートで確認を取っています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	86%	14%		医的ケアが必要な児童の受け入れは行っていませんが、受け入れをしている事業所の情報提供を今後もしていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	86%	14%		情報交換しながら丁寧に分析していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	86%	14%		進路のひとつとなる就労事業所について知るため、職員を派遣し、体験研修機会を設けていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%		助言、指導を受けています 1回/月訪問しています	各専門機関の研修に積極的に参加し関係機関との情報共有を密にしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%			外部のイベントに参加し、近隣の小学校との交流をしました。前年4回/年来訪してもらい交流会がありました。来年度も交流の計画をしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%		連絡会等に参加	今後も管理者や児童発達支援管理責任者が積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		送迎時に利用時の様子など伝えていきます	保護者との関わりを増やし普段の様子、課題を共有します。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		100%		ペアレント・トレーニングについて、まずは職員が学ぶ機会を設けていきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			日々の中においても丁寧な説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	86%	14%		保護者の悩みなど職員全員が共有するようにしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%		令和元年度 3回/年	多くの保護者様に参加をしていただけるように保護者会の内容を考えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		早めの対応を心がけております	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		次月の活動予定やイベントは告知して保護者様に重要なお知らせ等発信しています	1回/月「きらっと」を発行することで、保護者の方に活動内容を理解していただくようにしております。
	35	個人情報に十分注意している	100%		個人情報には十分注意を払っております	定期的に情報管理についてミーティングで確認します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			さらなる配慮をしていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%		定期的に発行する広報に情報や様子、取り組みを載せています	法人として計画された行事を継続していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%		必要に応じて見直しを行い、周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	施設としては定期的に行っています	定期的に活動に組み入れています。来年度6回/年避難訓練実施予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	研修を行っています	虐待防止のための会議、研修などを続けていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	日々の活動記録記載	個別支援計画に記載。 日々の記録にも身体拘束解除時間を設け、時間を記録に記入。 拘束の必要性について協議し、拘束の解消に努めていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	面談時保護者からの伝達で対応	医師意見書がある児童には保護者様に提出してもらうように伝えます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	随時ヒヤリハットを作成し、検討している	今後もヒヤリハットを作成し、対策を共有することで再発防止に努めていきます。